

# 品質・環境報告書

## 2025



中京化成工業株式会社

# 活動レポート(品質・環境) - 2025 -

中京化成工業(株)は、1999年11月26日にISO9001の認証取得に続き、2004年6月18日にISO14001の認証を取得しました。継続運用している中で2015年版改訂にも早期に対応し、2016年にISO9001を2017年にISO14001の移行を完了しております。2019年より品質と環境マネジメントシステムの統合を進め、2022年は当社の統合度合いはセカンドステージと評価していただきました。更なるステージへステップアップを目指し、2025年は品質・環境の両マネジメントシステムの確実な運用と次年に控える規格更新の準備を整えていきました。

## 品質・環境方針 / 品質・環境目標

### 品質・環境方針

当社は、品質・環境マネジメントシステムの最上位の「基本方針」に当社の取り組む決意と姿勢を表明すると同時に、より具体的に、かつISO9001、ISO14001規格に適合した「品質・環境方針」をまとめて制定しております。

「品質・環境方針」 2016年6月制定

#### 品質基本方針

- ① 我社の製品は常に優秀である。
- ② 我社は製品の品質で勝負する。

#### 環境基本方針

- ① 我社は自然と共生することに最大の関心を払う。
- ② 我社は環境配慮型製品の開発を進める。

#### 品質・環境方針

1. 当社の各事業活動、製品及びサービスを踏まえた品質・環境マネジメントシステムを構築します。また、蓄積された潤滑理論をベースに自動車関連、グリース関連、工業用機械関連、金属加工関連、離型・剥離剤関連、洗浄剤関連などの分野で顧客と地域社会に貢献します。
2. 変化する諸条件及び情報を反映した品質・環境目標を事業年度毎に設定し、運用し、定期的に見直すことにより、品質・環境マネジメントシステムの有効性の継続的改善に努めます。
3. 環境法規、条例、規制や当社が合意したその他の要求事項を順守します。
4. 顧客満足の上昇、環境負荷の低減と汚染の予防及び環境保護に努めます。
5. 全従業員に教育訓練と啓蒙活動を実施すると共に、ビジネスパートナーに対しても理解を求め協力して運用します。

#### 品質・環境マネジメントシステムの適用範囲

本品質・環境マネジメントシステムは「取り組みの計画策定シート」の記載内容を考慮し、その適用範囲は各種潤滑油、金属加工油、グリース、不凍液、離型剤などの製品の設計、開発、製造、引渡しにわたる品質・環境に関わる全ての業務・サービスとします。

品質・環境に関するサイトは本社・工場（中京化成工業株式会社 愛知県刈谷市今岡町西吹戸10番地1）のみとします。

この方針及び適用範囲は、文書化し広く一般に開示します。

2016. 6. 1

中京化成工業株式会社  
代表取締役社長  
廣野 拓

**2025年度 品質・環境目標**

「品質・環境方針」をベースに、当社の活動・製品・サービスから特定された「著しい環境側面」、法的及びその他の要求事項、当社を取り巻く内外の課題、更に利害関係者のニーズと期待より、「リスクおよび機会」を特定しております。さらにこれを考慮して各年度に「**全社目標**」、「**品質・環境目標**」を決めて対応し、その施策の実現に取り組んでおります。

**全社目標（品質）**

- ①顧客重視
- ②品質（Q、C、D）管理の向上
- ③供給者との互恵関係の強化
- ④予防処置

**全社目標（環境）**

- ①環境配慮型製品の開発と販売促進
- ②資源・エネルギー・廃棄物の削減
- ③法規制及び組織が同意するその他の要求事項の順守
- ④予防処置

部 門	品質・環境目標	
	内 容	目 標 値
営業部 潤滑油グループ	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 (①エンジンオイル：省燃費エンジンオイル ②鍛造油：油煙対策油・汚れ対策油・各種化学物質非含有油・再生油・ボンデフリープレス油・塩素フリープレス油)	年間売上 23,500万円
営業部 化成品グループ	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 (水溶性離型剤（ラッシュコート）・水溶性エアゾール)	年間売上 4,560万円
業務購買部	製品出荷時の特殊対応のマニュアル化	100%
	長期在庫製品の削減	前年比 50%削減
製造部	不良品流出0件【製造部起因】	0件
技術研究所	潤滑油グループ 環境配慮型 新規登録品の売上向上	15件 1,500万円
	化成品グループ 環境配慮型 新規登録品の売上向上	10件 1,000万円
	合計 環境配慮型 新規登録品の売上向上	25件 2,500万円
品質保証部	調整件数の削減【製造部起因以外】	15件
	電気使用量の削減	2024年度以下
総務部	納品書の電子化 資源削減	50万円以上

2025年度 品質・環境目標&実績

各関係部門において「品質・環境目標」を設定し、その達成に向けて取り組みました。仔細は次頁の通り。

	部 門	環境目的	目 標	実 績	評 価	
1. 増 業績の向上	営業部 潤滑油グループ	顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 23,500 万円	26,860 万円	\(^o^)/	
	営業部 化成品グループ	顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 4,560 万円	4,240 万円	(-_-)	
	技 術 研 究 所	潤滑油グループ	環境配慮型 新規登録品の売上向上	15 件 1,500 万円	2,253 万円	\(^o^)/
		化成品グループ	環境配慮型 新規登録品の売上向上	10 件 1,000 万円	1,909 万円	\(^o^)/
		合計	環境配慮型 新規登録品の売上向上	25 件 2,500 万円	4,162 万円	\(^o^)/
	総務部	納品書の電子化 資源削減 50 万円	50 万円	16 万円	m(-_-)m	
2. 減 不具合の削減	業務購買部	製品出荷時の特殊対応のマニュアル化	40 件	55 件	\(^o^)/	
		長期在庫製品の削減	前年比 50%削減 (2,362 kg)	2,249 kg	(-_-)	
	製造部	不良品流出 0 件【製造部起因】	0 件	3 件	m(-_-)m	
	品質保証部	調整件数削減【製造部起因以外】	年間 15 件以下	53 件	m(-_-)m	
	品質保証部	電気使用量の削減	2024 年度実績以下 (45.0kWh/LOT)	41.7kWh/LOT	(-_-)	

評価の凡例

\(^o^)/ : 目標値を 10%以上達成しました！  
 (-\_-) : ほぼ目標値  
 m(-\_-)m : 目標値の 90%以下に終わりました

各部のコメント

テーマ	部門	達成率 (目標対比)	コメント
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業部 潤滑油グループ	114.3%	本年度は目標を達成することが出来ました。分野別でエンジンオイルは目標比 127.2%で顧客の省燃費エンジンオイルへのニーズの高い事がうかがえ、鍛造油は 98.4%でトランプ関税やメーカーの不正問題等による稼働停止が影響しあと一歩及ばずでした。 次年度も今の取組みを継続しさらに高みを目指します。
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業部 化成品グループ	93.0%	昨年に引き続き、2年連続で未達となりました。原因としては大手顧客先の不振及び他社品に切り替えられたことが大きく影響しました。 次年度にメーカー3社で廃番が決まっており、1年分の在庫確保する顧客の多いですが、少しでも早めに切り替えをしていきます。
環境配慮型 新規登録品の売上向上	技術研究所 潤滑油グループ	150.2%	本年度は新規登録案件も多く計上でき、目標達成をすることが出来ました。年初予定していた大口案件も予定通り実績計上ができたことが大きな要因となっております。また、金属加工油での登録件数も顕著であったことも実績を牽引しました。 次年度も同テーマで取り組みます。
環境配慮型 新規登録品の売上向上	技術研究所 化成品グループ	190.9%	序盤は登録件数の伸びは順調でしたが6月以降は伸び悩みました。しかし9月以降巻き返し最終的には目標の2倍近い達成となりました。2024年度に取り組んだ開発案件が実を結んだ結果です。 引き続き2年計画の2年目として開発に取り組んでいきます。
納品書の電子化 資源削減	総務部	32.0%	納品書に関する部署にて意見が纏まらず対応が後手後手になった点と協力企業の担当者間の引継ぎが行われていなかった点等の要因でスケジュールが遅延し未達成となりました。 コミュニケーション不足が要因と考えますのでそれを解消するため関連部署や協力会社との定期的な打ち合わせを心掛けます。

各部のコメント

テーマ	部門	達成率（目標対比）	コメント
製品出荷時の 特殊対応のマニュアル化	業務購買部	137.5%	特殊対応のメインとして現品票対象顧客40件を目標にスタートしましたが、 SHIPPINGマーク 対応顧客も対象に加えたので実績は目標を大きく上回る結果となりました。 新加入部員にもわかりやすいかを確認し、内容精度を高めていきます。また、新規案件に関して 依頼書を作成したので、これを活用し出荷時の対応漏れが発生しないように努めます。
長期在庫製品の削減	業務購買部	105.0%	長期在庫4,723Kgという大きな数字からのスタートとなりましたが、他部署のご協力もあり年 度末は2,249Kgと目標達成となりました。本年より少量で受注いただく製品に対して100Kg 以下での製造を推進しております。今後の長期在庫発生に対する抑制にも取り組んだ1年でした。 2026年度は特定保管製品が課題だと考え、これらを中心に更なる削減に努めてまいります。
不良品流出0件【製造部起因】	製造部	3件	2025年度は、包装仕様書に関わる外観不良で3件の流出が発生し、流出に至らない事例でもヒ ューマンエラーによる外観不備が多く見られました。加えて、年初に予定していた複雑作業手順 の動画化が1件にとどまり、改善活動の推進力として不十分だった点も反省すべき事項です。 これらを踏まえ、現場の声を確実に反映し、部門間連携を強化しながら、品質管理体制の一層の 向上に努めてまいります。
調整件数の削減【製造部起因以外】	品質保証部	53件	2025年度は50件以上の調整が発生し、目標を大きくオーバーしてしまいました。 主要な原因としまして、エンジンオイル・ギヤーオイルの溶け残りが多発してしまったことが挙げ られます。工程監査も実施していましたが金属加工油を中心に実施してありました。次年度 は工程監査の回数を倍増させ、エンジンオイルやギヤーオイルへの監査も実施してまいります。 目標の件数も月2件以下の24件以下として取り組んでまいります。
電気使用量の削減	品質保証部	107.9%	2025年度は2月こそ悪い結果が出ておりましたが、その後はほぼ目標達成できました。 最終的な結果として電気使用量は102.6%に増加しており、生産LOT数の増加(110.2%)に助けら れた形になっています。来年以降は試験機器の増加や人員の増加などにより電気使用量そのもの の増加は避けられない見込みです。引き続き不要な電気使用の削減など啓もう活動を行い電気使 用量の増加を少しでも抑えられるよう努めてまいります。

# 中京化成工業株式会社 品質・環境への各種取り組み

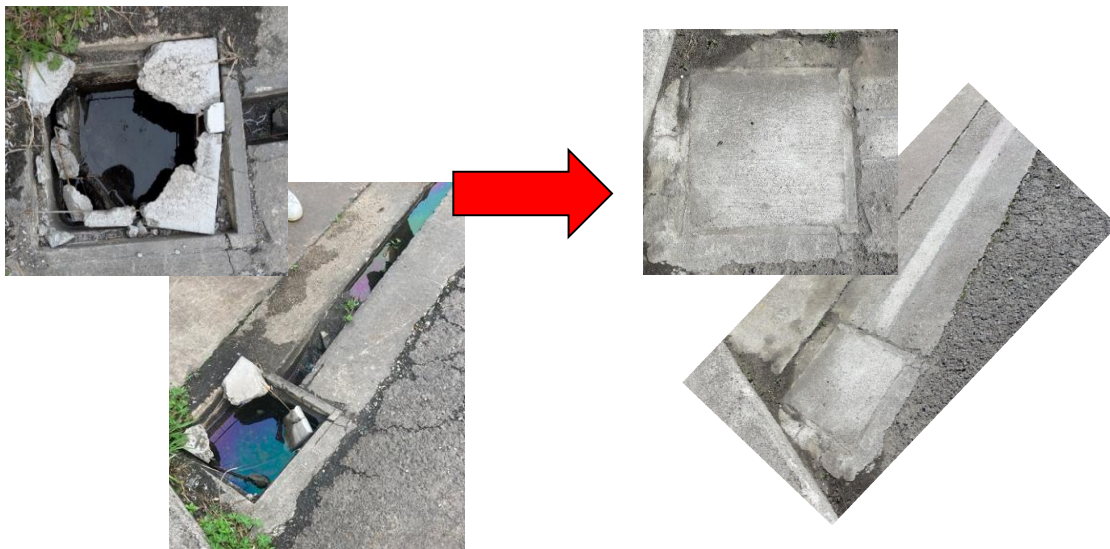


## 構内整理・整頓・修繕

識別の明記



修繕



## 緊急事態対策 非常呼集訓練、消火訓練、防災教育





中京化成工業株式会社

CKK CHUKYO KASEI KOGYO CO., LTD.

ISO9001:2015 (JQA-QM3984)

ISO14001:2015 (JQA-EM4081)

〒448-0008

愛知県刈谷市今岡町西吹戸 10-1

TEL: (0566) 36-3690 (代表)

FAX: (0566) 36-6156

URL: <http://www.c-k-k.co.jp>

10-1, Nishifukido, Imaoka-cho

Kariya-City, Aichi-Pref., JAPAN

TEL: 0566-36-3690 (General Line)

FAX: 0566-36-6156